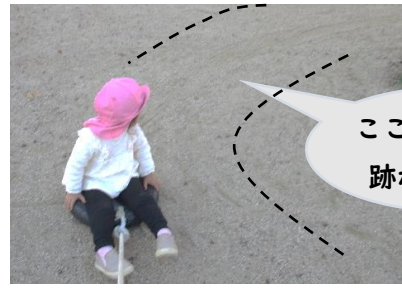


# 『線っておもしろいね』 2歳児 11月



ここにタイヤの跡があります

## エピソード

「おさんぽしよう」と保育者を誘ったA児はタイヤを引っ張って歩いた跡を見つけ、「ここ歩こう」と言って線の上を歩き始めました。「どこいくかなー」と線をたどって歩いていき、複数の線を見つけると「こっちかな?」「ここにもあった」という声はとても嬉しそうです。そして、行きたい方向を指差し、保育者の手を引いて進んでいくと他児がタイヤを引っ張って遊んでいるところに出会い、「本当にタイヤいた!」と驚きました。その後しばらく歩いたA児は「線っておもしろいね」とぼそり。思わず保育者も「本当だね、面白いね」と返しました。

翌日も「また線歩こう」と保育者を誘ったA児は空いているタイヤを見つけ、「これ乗りたい」と言ってタイヤに座りました。保育者に引っ張ってもらう中で「後ろに線できているよ」と聞いたA児は後ろを振り返って線をじっと見ました。すると、後ろを見ながら指を地面につけたA児。タイヤが進んでいくと地面に跡がつき、笑いながら保育者の方を振り返りました。

## 保育者の思い

線の上を歩くのね。一緒に歩いて、面白さを共有しよう。

線をたくさん見つけて嬉しそうだな。同じように歩いてみると、分岐点はどこに進もうか、わくわくする場所だと感じる。A児もくねくね歩いて、こんな風に楽しい思いを味わっているのかな?

偶然を”本当に”と捉えるところが面白い!  
何の跡か実物に出会えた驚きが”本当に”という言葉になったのかな?

ただのタイヤの跡、線かもしれないけど、線の上や曲道を歩いたりいろんな線を見つけたりできて、確かに“線っておもしろい”なあ。ぼそっと呟いた様子からは思いがひしひしと伝わってくる。

後ろにできている線に気付けるように声をかけよう。

指を地面につけたら跡ができると思ったんだ、すごい!  
自分も跡をつけたいと思ったのかな?  
笑って振り返ったのは、考えたことが上手くいって嬉しそうだし、見てほしい思いもあるのかな?線ができたのを一緒に見て面白さや嬉しさに共感しよう。

## 子どもの育ちや学び

- ・興味を持ったものについてより探ろうとする(見る、歩く、考える)
- ・自分の思いや考えを行動や言葉で表す
- ・感じたことを保育者と共有する
- ・前日の面白かったことを思い出して遊ぶ
- ・自分なりに考えたことを試してみる

## 家庭だったら・・・

今回のタイヤの跡のように、何気なく目にしているもの(地面に落ちている葉っぱや空に浮かぶ雲など...)も子どもたちにとっては“未知”のものかもしれません!“これはなんだろう?”という子どもの疑問や不思議さを受け止め、「なんだろうねえ」と一緒に見たり、何か試すかな?と見守ったりして、わくわく感を共有することで、様々な物事への興味が深まっていくと思います。